

最上小国川清流未来ニュース

平成 29 年 12 月 20 日 発行
最上小国川清流未来振興機構

第 9 号

最上小国川クリーンフェスティバルを開催しました！



10月8日（日）に舟形町のアユパークで最上小国川クリーンフェスティバル（スポーツGOMI拾い）を初めて開催しました。

これは、民間の主体的な活動を促進するため、平成28年度に実施した、流域で地域振興に取り組む団体による情報・意見交換会（まちカフェ）にて「子どもたちが川と接する機会が減った」といったご意見を頂戴したことを踏まえ開催したものです。最上小国川清流未来振興計画では、「先人から引き継ぎ、未来に伝える清流文化最上小国川」をキャッチフレーズとして掲げており、最上小国川清流未来振興機構としましてはこれからの流域を担っていく若い世代の方に、最上小国川の魅力、現状を知っていただく機会になればと考えたものです。最上小国川クリーンフェスティバルは、子どもから大人まで80名24チームの参加があり、参加者は秋空のもとスポーツGOMI拾いや最上小国川に関するクイズにチャレンジしました。

スポーツGOMI拾いとは

地域住民、企業・団体等が取り組む従来型のごみ拾いに、「スポーツ」のエッセンスを加え、今までの社会奉仕活動を「競技」へと変換させた日本発祥の全く新しいスポーツです。あらかじめ定められたエリアで、制限時間内に、チームワークでゴミを拾いゴミの量等でポイントを競い合います。



きれいな最上小国川を 未来に伝えたい



開会にあたり、伊藤山形県議会議員と最上小国川清流未来振興機構を代表して石山最上総合支庁長からあいさつをいただきました。その後、審判長の美しい山形・最上川フォーラムの大泉さんの「ゴミ拾いはスポーツだ！」の掛け声で競技を開始しました。

また、会場内には、最上小国川や環境に関するクイズが設置され、チームごとに8問選んで回答カードに記入してもらいました。最終的に、15.44kgものゴミを回収できました。ゴミ拾いの後は、環境に関する紙芝居や海ゴミの実態などの紹介パネルを見ながら、最上小国川流域の秋の味覚としてアユの塩焼きと、山形名物芋煮を全員でおいしくいただきました。

参加者からは「舟形町はゴミが少なくきれい」、「普段素通りしてしまうところを皆でじっくり話をしながらまわることができて楽しかった」といった声がありました。



最上小国川流域の振興に向けた取り組み（第2回）

「最上小国川清流未来振興計画」に基づく取り組みの中から「温泉地等の魅力向上の推進」について紹介します。

赤倉温泉の旧せんしん館が平成30年春に「『おくのほそ道』赤倉ゆけむり館」としてリニューアルオープンします。露天風呂や産直施設、交流スペースを備えた赤倉温泉の新しい日帰り温泉施設です。地元の農産物、特産品を販売する「産直まじゃれ楽市楽座」、地域交流活動の場となる「ふれあい広場」を新設するとともに、そば道場、多目的トイレ、最上小国川ダム・流域の情報発信ブースも整える予定です。温泉街のさらなる観光交流拠点となるよう現在準備を進めております。(写真はイメージ図です。)



～第2回最上小国川写真 コンテスト開催中～

「未来に伝えたい、私たちの最上小国川」をテーマに写真コンテストを開催しています。

最上小国川の魅力（最上小国川の風景、体験や思い出など）を撮影した作品を募集しています。

【応募締切】

平成30年1月31日（水）
まで（当日消印有効）

【入賞】

賞金のほか、「最上小国川流域の特産物」をプレゼント
※詳しくは、下方部お問い合わせ先のURLをご確認ください。

【お問い合わせ先】

最上小国川清流未来振興機構（山形県最上総合支庁総務企画部総務課連携支援室内）：29-1240

※ 最上小国川清流未来振興機構のホームページでも、流域での地域づくり活動・観光情報などを掲載していますので、是非ご覧ください。（<http://seiryu-mogamiogunigawa.jp/>）

